



# CYLINDER KIT (DOHC-4V 138cc) 取扱説明書

(DOHC-4V シリンダーヘッド/ストロークアップクランク 54mm 138cc 装着車両専用)

商品番号：01-04-0132 (シリンダーキット)  
：01-02-0170 (ピストンキット)  
適応車種：モンキー/ゴリラ

- ・この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。ご使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
- ・当製品は弊社製DOHC-4Vシリンダーヘッド専用のシリンダーとピストンをセットにしたキットです。
- ・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

## ☆特 徴☆

- ◎シリンダーは耐久性、気密性、放熱性に優れたオールアルミシリンダーを使用、シリンダー内径にセラミックコンポジットメッキを施しフリクションロスを最低限に抑えます。
- ◎弊社独自のスカット構造（特許取得済）採用とストロークアップクランクとの組み合わせにより排気量138ccまでスーパアップしています。
- ◎シリンダーオイルリターン通路部にM10サービスタップ穴を設けております。
- ◎ピストントップ形状は全てNC加工にて製作しており、圧縮比の固体差を限りなく少なくしております。

## ☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

- ◎弊社製DOHC-4Vシリンダーヘッド専用のキットです。このキット単体では使用出来ません。
- ◎弊社製ストロークアップクランクシャフトキット54mm (138cc)：01-10-0092/01-10-0093専用のキットです。他のクランクシャフトには使用出来ません。
- ◎この製品を取り付けての一般公道の走行は出来ません。一般公道を走行すると違反となり、運転者ご本人が罰せられる対象となります。
- ◎取り付けの際には、工具等を準備し、取付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。尚、この取扱説明書やホンダ純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は、技術的信用のある専門店へご依頼されることをお勧め致します。
- ◎当製品を取り付け使用し当製品以外不具合が発生した場合、当製品以外の部品の保障は、どのような事柄でも一切お受け致しかねます。
- ◎製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。
- ◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
- ◎必ず慣らし運転を行って下さい。
- ◎このキットを取り付けると出力アップに伴い発熱量も増加します。長時間の高負荷走行にはオイルクーラーキットの装着をお勧め致します。
- ◎ポルト、ナット類の一部は再使用しますが、摩耗や損傷が激しいものは再使用せず必ず新品の物をご使用下さい。
- ◎シリンダー部からのピストン打音が大きく感じられる場合があります。
- ◎点火系パーツは、ノーマル又は弊社指定パーツのみ使用可能となります。他メーカー製パーツ使用に付きましては、対象外とさせていただきます。
- ◎燃料は必ず、ハイオクタン価ガソリンをご使用下さい。(リサーチ法97以上)レギュラーガソリンを使用するとエンジンに重大なトラブルが発生します。
- ◎このシリンダーキットは、専用のシリンダーガスケット(ガスケット厚み:0.8mm)を使用します。ガスケット厚みが0.5mmの物は使用出来ません。誤って0.5mm厚の物を使用しない様、十分ご注意下さい。
- ◎ピストンピンサークリップ、ガスケット、パッキン類は、必ず新品部品を使用して下さい。部品の摩耗や損傷で部品破損により事故につながる恐れがあります。

## 仕様

ボア径	ストローク量	排気量	圧縮比
57mm	54mm	137.7cc	11.5:1



この表示の表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- ・このパーツはクローズドコース用として開発した製品ですので、一般公道では使用しないで下さい。  
(一般公道で使用すると、道路車両運送法保安基準違反となり運転者が罰せられます。)
- ・作業を行う際は、必ず冷間時(エンジンおよびマフラーが冷えている時)に行ってください。  
(火傷の原因となります。)
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。  
(部品破損・ケガの原因となります。)
- ・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。  
(ケガの原因となります。)
- ・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みがあれば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。  
(部品の脱落の原因となります。)



この表示の表示を無視した取り扱いをすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・点検、整備を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。  
(そのまま使用すると、部品破損により、事故につながる恐れがあります。)
- ・エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉したような場所では、エンジンを始動しないで下さい。  
(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。  
(事故につながる恐れがあります。)
- ・ガソリンは非常に引火しやすい為、一切の火気を避け、燃えやすい物が回りに無い事を確認して下さい。  
(火災の原因になることがあります。)
- ・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。  
(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- ・指定した部品以外の部品使用は、一切行わないで下さい。  
(部品破損により事故につながる恐れがあります。)
- ・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。  
(ボルトおよびナットの破損、脱落等で事故につながる恐れがあります。)
- ・気化したガソリンの滞留は、危険性が有る為通気の良い場所で作業を行ってください。  
(爆発につながる恐れがあります。)
- ・燃料は必ず、ハイオクタン価ガソリンを使用して下さい。  
(ノッキング等のトラブルで事故につながる恐れがあります。)

◎性能、デザイン、価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。

◎クレームについては、材料及び、加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として修理又は交換させて頂きますが、工賃その他費用は対象となりません。

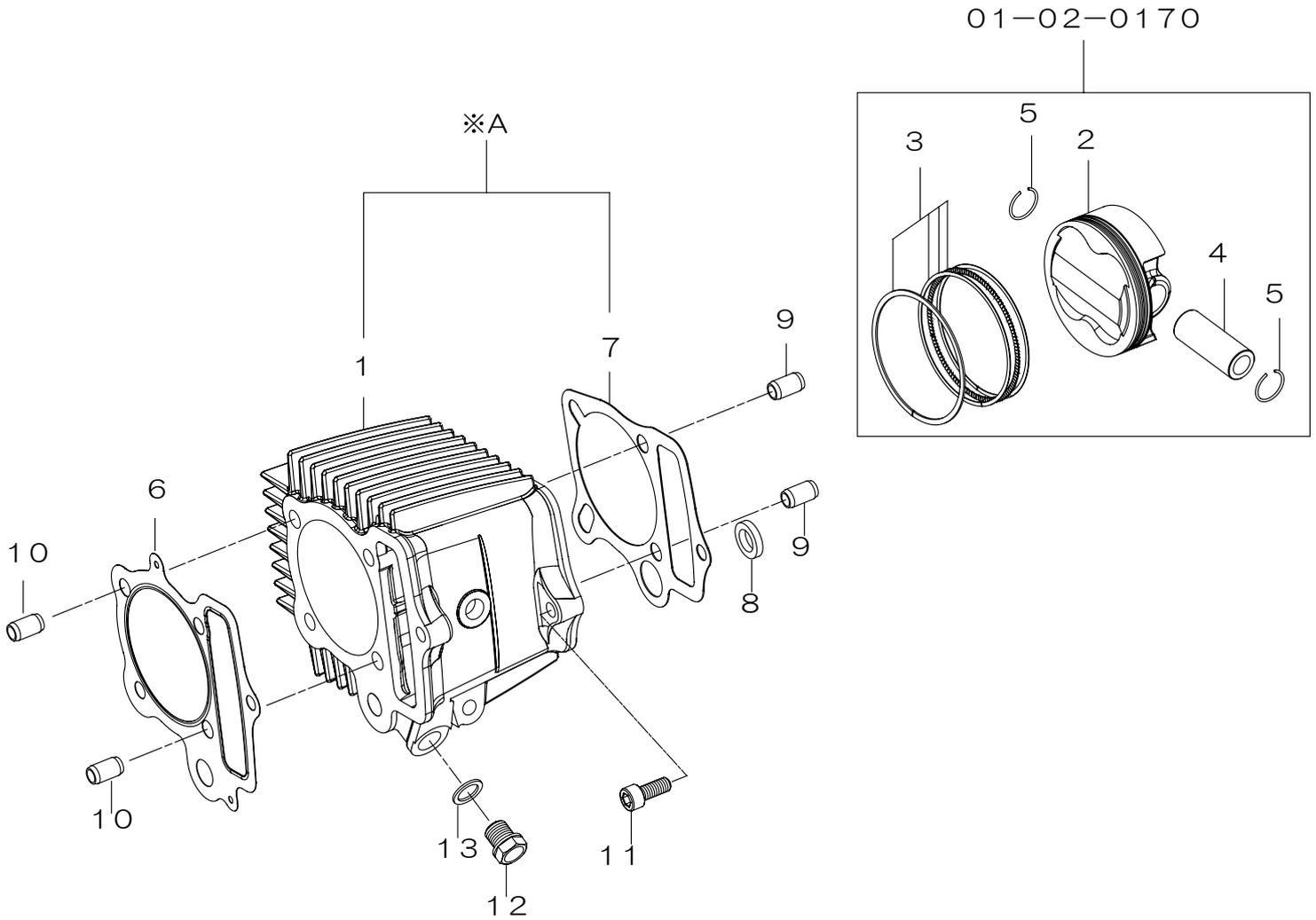
◎指示している部品以外との組み合わせによるトラブルの保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。

◎当取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

## エンジン適合仕様

	商品番号	商品名
	01-03-6026	DOHC シリンダーヘッドキット (オートデコンプ付)
	01-10-0092	クランクシャフトキット (54ストローク 138cc)
	01-10-0093	クランクシャフトキット (54ストローク 3点支持 138cc)

～商品内容～



番号	部品名	個数	リペア品番
1	アルミシリンダー 57mm	1	_____
2	ピストン 57mm	1	13109-D4T-T00
3	ピストンリングセット 57mm	1	13012-RAS-T01
4	ピストンピン 14×36.3	1	00-01-0114 (クリップ付)
5	ピストンピンサークリップ 14×1.0	2	00-01-0052 (6ヶ入り)
6	シリンダーヘッドガスケット 57.5mm	1	01-13-0205
7	シリンダーガスケット (0.8mm)	1	
8	ラバーパッキン 16mm	1	00-01-0090
9	ノックピン 8×12	2	
10	ノックピン 8×14	2	00-00-0043 (10ヶ入り)
11	ソケットキャップスクリュー 6×20	1	
12	オイルプラグボルト	1	90145-GEY-T00
13	アルミシーリングワッシャ 10mm	1	00-07-0010 (10ヶ入り)

※A アルミシリンダー 57mm (シリンダーガスケット付) 00-01-0386

※リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。

尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいませお願い致します。

株式会社 スペシャルパーツ 式川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号 TEL 0721-25-1357 FAX 0721-24-5059 URL <http://www.takegawa.co.jp>  
お問い合わせ専用ダイヤル 0721-25-8857

## ～ 取り付け要領～

⚠ 注意：トルクレンチを必ず用意し、確実に規定トルクを守り作業を行う事。

⚠ 警告：技術、知識の無い方は、作業を行わない事。

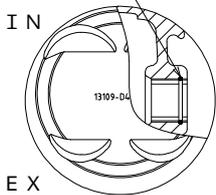
エンジン脱着、クランクケース分割等の作業が必要な場合があります。ホンダ純正サービスマニュアルを必ず参照し確実に作業を行なって下さい。サービスマニュアルに従い、エンジンをフレームから取り外し、エンジンを分解します。各部品の点検を行います。

⚠ 注意：各部の点検、消耗品の確認交換は確実に行う事。

## ～ シリンダー取り付け要領～

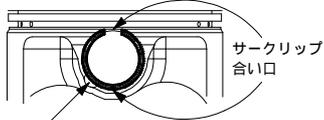
ピストンを上から見て、矢印マークがある場合は矢印マークを下側、INマークがある場合は、INマークを上側にした状態で、右側にピストンサークリップを取り付けます。

サークリップ



サークリップは必ず上記図の方向に取り付けて下さい。

ピストンピンサークリップの合い口は、ピストンピン穴の切り欠き部を避け、ピストンに対して上下方向に合わせます。

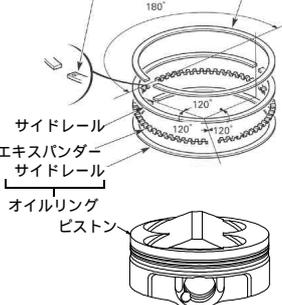


ピン穴切り欠き

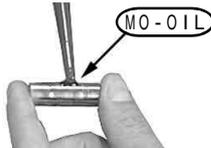
ピストンリング部及びピストンピン部をエアブローし、異物の噛み込みが無い事を確認します。ピストンリング溝にオイルを塗布し、図を参考にしてピストンリングを取り付け、合い口を合わせます。



トップリング  
マークを上（ゴールドまたはシルバー）



ピストンピン及び、コネクティングロッド小端部にモリブデン溶液を塗布します。



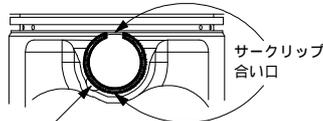
ピストンに矢印マークがある場合、矢印方向をエキゾースト側に、INマークがある場合、INマークをインテーク側に向け、コネクティングロッドにピストンを取り付けます。



クランクケースのスリーブホール部、カムチェーンホール部にきれいなウエスを詰め込み、ピストンピンサークリップを取り付けます。



ピストンピンサークリップの合い口は、ピストンピン穴の切り欠き部を避け、ピストンに対して上下方向に合わせます。

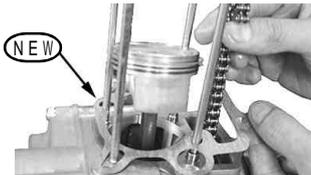


ピン穴切り欠き

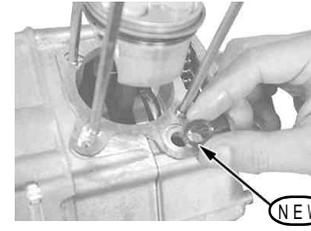
詰めていたウエスを取り外します。クランクケースのシリンダーベース面をきれいに脱脂し、ノックピン穴に、ノックピン 8 × 12 を取り付けます。



クランクケースのシリンダーベース面にキット内の部品のシリンダーガスケットを取り付けます。



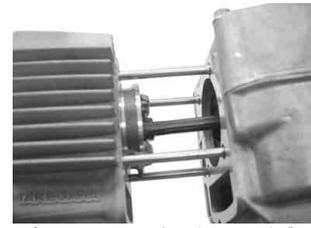
クランクケースのシリンダーベース面のオイルリターン穴部にキット内の新品のラバーパッキン（ブラック）を取り付けます。



アルミシリンダーのボア内全周にオイルを塗布します。

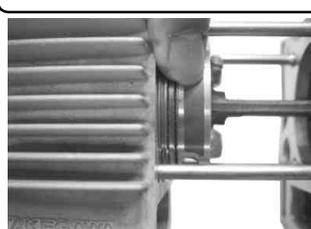


アルミシリンダーをスタットボルトに差し込みます。

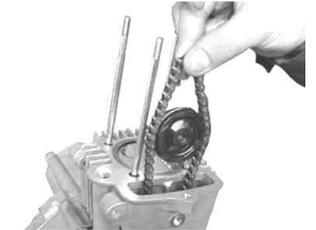


ピストンリングの合い口がずれない様、ピストンリングを圧縮しながらシリンダーを取り付けます。

⚠ 注意：ピストンリングを損傷しない様、注意する事。



カムチェーンガイドローラーをカムチェーンの間に入れます。



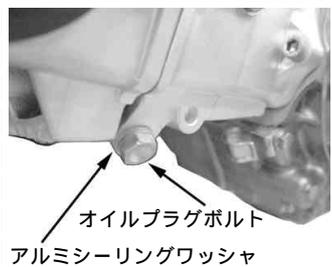
カムチェーンガイドローラーと、シーリングワッシャ、シリンダーサイドボルトを取り付け仮締めします。



シリンダーサイド部のクランクケースと結合するソケットキャップスクリュー 6 × 2.0 を仮締めします。シリンダーヘッドを取扱説明書に従い取り付けます。シリンダーヘッド取り付け終了後、キット内のアルミシーリングワッシャ、オイルプラグボルトを取り付け、規定トルクで締め付けます。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。

トルク：14 N・m  
(1.4 kgf・m)



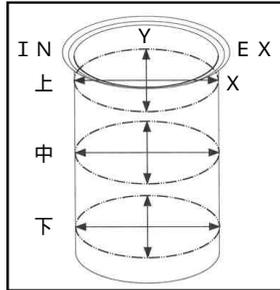
オイルプラグボルト  
アルミシーリングワッシャ

# インスペクション/マニュアル

⚠ 警告：技術、知識の無い方は、作業を行わない事。

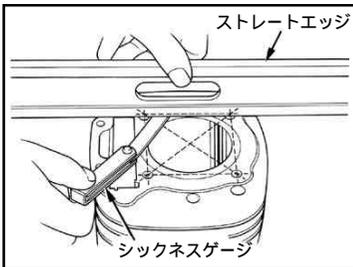
## シリンダーの点検

- ・シリンダーの内面の摩耗、損傷を点検する。
- ・ピストンピン方向とその直角軸方向(X - Y方向)に、上、中、下段の6ヶ所でシリンダー内径を測定し、記録する。  
最大測定値を内径値とする。  
シリンダー 57.05 mm以上交換
- ・シリンダーとピストンの隙間を計算して求める。  
シリンダー 0.015 ~ 0.04 0.06以上交換



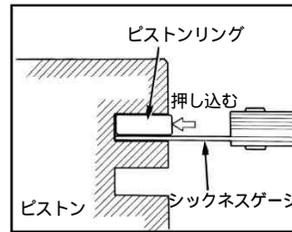
シリンダー内径が使用限度を超えている場合、シリンダーとピストンをセットで交換する。

- ・シリンダーの上面のキズ、損傷を点検する。
- ・シリンダーの上面の歪みをストレートエッジ及びシックネスゲージで点検する。  
使用限度：0.05 mm以上交換

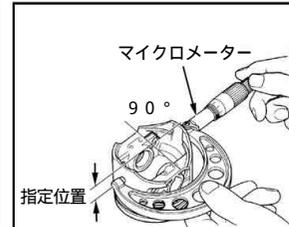
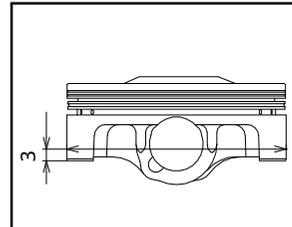


## ピストンの点検

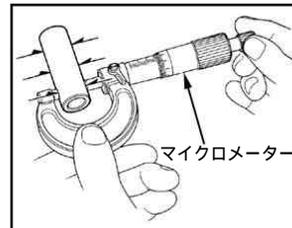
- ・ピストンからカーボンの汚れを取り除く。
- ・ピストンにピストンリングを取り付け、ピストンリングをリング溝に押し込んだ状態で、ピストンリングと、リング溝のクリアランスをシックネスゲージで測定する。  
0.17 mm以上交換



- ・ピストンの外傷を点検する。
- ・ピストンピン穴に対し、直角の方向でピストンスカート下端から指定の位置でピストンの外径を測定する。

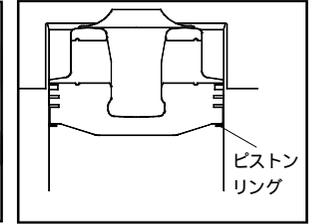
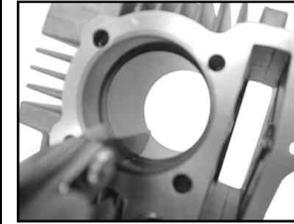


- ・シリンダーとピストンの隙間を計算して求める。  
0.06以上交換
- ・ピストンピンの外径を測定する。  
14.98 mm以下交換



## ピストンリングの点検

- ・ピストン頭部でピストンリングを下部に水平に取り付け、合い口のクリアランスをシックネスゲージで測定する。  
TOP - 0.5 mm以上交換 OIL - 0.9 mm以上交換



## 補足

- ・ピストンを新品に交換する場合、ピストン頂面に種別の打刻がしてある。その打刻No.により、ピストンを指定し、注文することが出来る。  
シリンダー内径に損傷が無く、使用限度を超えていない場合に限る。

## ピストンで判断する場合

- ・ピストン頂面に付着したカーボンを取り除き、ピストン頂面に打刻してある品番を確認する。



- ・頂面に打刻してある品番を注文する。